



広島西ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA WEST

No.
1978

例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会 長 中村 哲朗
幹 事 森信 秀樹

事務所・〒730-0011 広島市中区基町 6-78
リーガロイヤルホテル広島 13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E mail hw rc@godorcgr.jp
広島西ロータリー http://www.hwrc.jp/

RIテーマ THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS
「ロータリーの未来は
あなたの手の中に」

本年度会長テーマ
「ロータリーの心で周囲を包もう」

「ロータリー雑誌月間」

2010年4月8日 第1954回例会

◆ 会長時間 ◆

中村(哲)会長



4月は、ロータリー雑誌月間です。私は「ロータリーの友」に書かれている内容についてざっと目を通しております。最近、地域とともに歩む〇〇〇ロータリークラブの紹介記事が載っていますし、卓話の泉、友愛の広場、RIからのメッセージ等は楽しみに読んでおります。ロータリアンとして多少でも頭の片隅に入れておきたい雑誌ですので、ガバナー月信を含めてこれからも継続的に読んでいきたいと思っております。

さて在広14ロータリークラブの懇親ゴルフ会が、4月29日広島カントリー倶楽部西条コースで開催されます。今年は当クラブの主管となっており、実行委員長をお願いしている松岡会員を中心に、紫友会の世話人代表の藤田会員他世話人の方々にお世話になっております。現在の申込人数は、182名と聞いております。180名を超える大きなコンペになりますので、準備にお手数をかけますがよろしく願いいたします。また当クラブから26名のエントリーを頂いているそうです。久しぶり

の優勝カップを是非とも持ち帰って頂くことを期待しております。

● 会務報告

森信幹事

※「ロータリー情報マニュアル」及び「わかりやすいロータリー」冊子の購入を希望される方は回覧にご記入をお願いします。

※ロータリー財団のチリ地震災害復興基金及び交通遺児育英会より支援依頼があり、先の理事会で承認されましたので本日例会中に募金箱をまわします。お気持ちほどをご協力頂ければ幸いです。

※台南RC青少年交換報告

御 礼

森信 亜友美

このたび、広島西ロータリークラブの青少年短期交換プログラムの派遣学生として3月23日から31日まで、姉妹クラブである台南ロータリークラブのお世話でホームステイと交換プログラムを体験させていただきありがとうございました。

私は、昨年約10ヶ月サンフランシスコ等で語学研修を受けましたが、その際台湾からの学生達と知合いになりました。彼らは日本に好印象を持ち、親しみやすい国民性が私の台湾への興味

となり、このたびの参加の動機となりました。
台南では許さんのお家にホームステイさせていただきながら八田ダム・古寺めぐりやロータリークラブの例会参加など盛りだくさんの行事であっという間の9日間でした。31日に同行の安部さん、柴田君と別れて台北に残り、友人と再会し4月4日に帰国させていただきました。私を含めみんな最初はホームシックになりましたが、それぞれ貴重な体験をすることができて感謝しています。

本来であれば例会に出向いて直接皆さんに御礼を申しあげるところですが新学期も始まりましたので書面にて御礼とさせていただきます。



撮影：台南ロータリークラブ

Akira 国際奉仕委員長

3月31日 台湾 桃園国際空港にて

● 委員会報告

出席報告 村上(智)副委員長

本 日 (4月8日・木曜日)

会員数 87名 出席者 68名

欠席者 19名 ご来客 6名

ご来賓 1名 ゲスト 1名

計 76名

前々回(3月25日・木曜日)

出席率 100%



※ 金本次年度幹事

次年度の会員名簿等作成のため、BOXに会員名簿確認のお願いを配布しておりますので、ご確認のうえ提出をお願いします。例会終了後、次年度第4回理事会を開催いたしますので、理事会メンバーは出席願います。

※ 40周年記念誌広報委員会 小橋委員

40周年記念誌「会員紹介」の部に

掲載する原稿及び写真について



本日は、「ロータリーの友4月号」の紹介ですが、その前に、創立40周年記念誌のことで、お願いがあります。

記念誌の中に、会員の紹介欄がありますが、そのための写真2枚が必要となります。

顔写真は、紫風会で、撮っていただく段取りになっています。

スナップ写真の方は、それなりに一番良く撮れていると、思われるのを一枚、ご提出下さい。

それから、もう一つ、本日、ボックスに入っております、この用紙ですが、タイトルは、15字以内で、本文は、140字以内で、「自己紹介」、

「私の趣味」、「最近思うこと」あるいは「40周年に寄せて」などなど…何でもいいですから、お書き下さい。(事務局へメールで送って下さっても結構です。)

締め切りは、4月22日となっております。

今月中に、私、小橋か鈴木会員まで、何卒よろしくお願い申し上げます。

※ 会報雑誌・広報委員会 小橋会員

ロータリーの友誌紹介

● 同好会報告

📺 バイオレッツ 柴田世話人

11日(日)にマツダスタジアムで行われます、ガバナークップの準決勝・決勝の応援に来ていただける方にお伝えいたします。

応援の皆さんに関係のある事項は3つです。

1つ目、試合時間は準決勝の対戦の浦戦が、午前10時から。これに勝てば決勝が、午後1時からです。

2つ目、車でのご来場は可能です。但し、駐車場は球場周辺の有料駐車場をご利用下さい。セ

ンターのスコアボード裏には、広い駐車場がありますのでスタジアム正面から、道なりに行かれますと駐車場に着きます。

3つ目、スタジアム内への入り口ですが、スタジアム正面玄関に向かって右側に看板が立っていますのでそこからお入り下さい。但し、ベンチへは選手のみしか入れません。応援される方は、ベンチのすぐ横にある砂かぶり席からの応援となります。因みにバイオレッツは、3塁側のベンチとなります。

次回例会には、是非、優勝旗をご披露したいと思っておりますので応援宜しくお願い致します。

祝 連続出席100% (5名)

竹本君 (31年)	三浦君 (29年)
松岡(幹)君(28年)	香川(基)君(14年)
池田君 (5年)	

連続出席 5年 池田 巧 会員に記念品贈呈

ご結婚記念日おめでとうございます。

(14名)

藤原君 (1日)	梶本君 (2日)
鈴木君 (3日)	中田君 (7日)
日域君 (7日)	池田君 (8日)
諏訪(昭浩)君(8日)	尾鍋君 (10日)
羽井君 (11日)	森脇君 (16日)
村上(昇)君(18日)	諏訪(昭登)君(21日)
香川(基)君(22日)	瀬尾君 (30日)

● スマイルボックス SAA 笹野委員

☺ 刀禰君 (自主申告)

先月、社会奉仕部門で栄養剤を施しました「みずとりの浜公園」の桜の花が満開で連日公園内にゴザ敷きのお花見客で賑わっています。

お蔭様で目の保養をさせていただきます吉見園藤垂園地区町内会の浜井会員、中村(哲)会員、岡野会員も御出宝下さい。(トリプル)

☺ 香川(基)君

4月1日広島経済レポートによりますと、香川委員長率いる広島経済同友会の『ひと・まちづくり委員会』が昨年初めて実施した新入社員パワーアップ研修会が今年も6月に江田島青少年自然の家で実施されます。

昨年参加した15社30名へのアンケートでは全員が『良かった』との事。社員研修も1社单独では限界があり、また異業種交流も含めてチームワークや協調性なども学ぶいい機会です。定員は50名。西RCのメンバーの企業の方もご利用如何でしょうか？社会人としての入り口にスムーズに入れるような研修を期待しております。

☺ 山木君

このたび、自由民主党広島県連の役員改選において、県連岸田会長のもと総務会長に就任されました。県民の志を汲み上げ益々のご活躍を期待しております。

尚、県連役員の平均年令が、この度の人事で15~20才若がえったそうです。因に山木先生の貢献はその内、2~3才分しかありません。

☺ 木村君、浜井君

3月28日(日)開催の広島ゴルフクラブ鈴ヶ峰コースのコンソレーション杯コンペで、木村構臣会員が2位、浜井順三会員が栄えある3位に入賞されました。スコアはあえて申し上げますが、誠にお目出とうございました。

■ 卓 話

NPO法人 「ANT-Hiroshima」の 活動紹介



NPO法人 ANT-Hiroshima
代表理事 渡部 朋子氏

草の根のNGO「ANT-Hiroshima」は、平成元年、ここ広島に誕生しました。以

来22年間にわたり、「世界の、そして1人1人の平和づくり」をモットーに、さまざまな活動を続けて参りました。本日は、その活動の一端をご紹介します。

2005年10月、インドとパキスタンが領有権をめぐり長年にわたって紛争を続けているカシミール地方を、マグニチュード7.6の地震が襲いました。2002年よりパキスタンで活動が続けていたANT-Hiroshimaは、地震直後に緊急支援に赴き、医薬

品・衣類等の配布を行いました。その後、平和貢献NGOsひろしまと協働で約1年半の復興支援活動にたずさわることとなり、原田さん・藤井さんという2人の女性を現地に派遣し、「教職員を対象とした保健衛生指導事業」「教育資機材供与事業」「こころの健康推進事業」という3つの事業を実施いたしました。本日は、特に「こころの健康推進事業」についてお話をしたいと思います。

「こころの健康推進事業」は、地震によって極度の精神的ストレスを受けた子ども達に、何とか元気になってほしいと願って実施した事業です。映画の上映会やスポーツ用品・楽器などの供与を行うだけでなく、パキスタンで「サダコの祈り」という絵本を出版し、読み聞かせしながら各学校に配布しました。心に深い傷を負った子ども達には、日用品だけでなく、「美しいもの」「勇気づけられるもの」「希望」が必要でした。パキスタンのアーティスト、ファウジア・ミナラさんの協力のもと、ヒロシマの「佐々木禎子」と「原爆の子の像」建立の物語を、美しい絵本で伝えました。サダコの話は、私たちの想像を超える大きな反響と広がりをもたらしました。

「平和は美しい。平和でない人生は実のならない木のようなものです。生は神様からの贈り物で、それは尊重されるべきものです。」

これは絵本を読んだ子ども達の感想です。この絵本配布をきっかけに、「平和・教育・友情」を目的としたNGOが地元で誕生。その後、サダコプライマリースクールが建設され、多くの子ども達の学びの場となっています。

ANT-Hiroshimaの“ANT”とは「アリ」を意味します。「1人1人の力は小さくとも、集まれば大きな力になる！」これからも「ヒロシマ」の経験を活かして、草の根の平和貢献に全力を尽くして取り組みたいと思っています。



■ロータリー情報

「ザ・ロータリアン」誌と ロータリー・ワールド・マガジン・プレス

4月は「ロータリー雑誌月間」に指定され、国際ロータリーの公式雑誌「ザ・ロータリアン」誌とロータリー地域雑誌の愛読と利用を奨励する機会とされています。これらは集会的にロータリー・ワールド・マガジン・プレスと呼ばれています。

「ザ・ロータリアン」誌は、1911年の創刊以来、ロータリアンに情報を伝え、ロータリーのプログラムと綱領を推進する媒体としての役割を果たしています。この雑誌の第一の目標は、ロータリーの重要なプログラムを支援、推進することであり、R Iの年次テーマやR I会長の哲学、重要な会合、ロータリーの公式指定月間の強調などに関する情報を広く伝えています。

「ザ・ロータリアン」誌は、ロータリー関連と一般向けの両方の話題を掘り下げて扱う場となっています。ロータリー・クラブの例会や地区会合のプログラムのための優れたアイデア源、情報源としての役割も果たし、国際的な親睦、親善、理解を促進するような記事が多く掲載されています。この雑誌の愛読者は、通常、ロータリーの活動について、またロータリアンが世界中でいかにして奉仕の四大部門に全面的に関わることができるかについて、豊富な知識を備えています。

「ザ・ロータリアン」の他にも、ロータリー・ワールド・マガジン・プレスでは30の地域雑誌が23カ国語で印刷されており、発行部数は延べ75万部を上回っています。各地域の発行誌はそれぞれ独特のスタイルと内容を持っていますが、これらはすべて、雑誌月間の4月に限らず、年間を通じて、ロータリアンに最新情報と興味深い読み物を提供しています。

クリフォード L. ダクターマン著
「ロータリーのいろは」より抜粋